

狂犬病予防接種 について



林 悦子 議員

問

毎年4月に行われる狂犬病の集団予防接種が、本年はコロナウイルスの為にわれなかつた。現在までの接種状況について伺う。

答

市民生活部長
7月時点での接種率は、登録数2499頭に対し、接種済8

71頭で34・8%です。ちなみに昨年度の接種率は、県平均62・9%に対し、桜川市は63・2%で、県内24番目です。

接種率の高い市町村は、利根町が83%、結城市が81・1%で、高い市町村の取り組み事例によれば、集合接種よりも動物病院での接種が多くなっています。また、未接種の飼い主への通知、防災無線での広報も行っているとのこと。

問

昨年の半分という接種率だが、来年の低下が懸念される。今後どのように対応するのか。

答

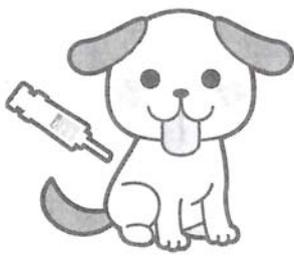
市民生活部長
本年12月31日までに接種されるよう、未接種犬に対する周知を進めます。市内の獣医師には市発行の注射済証を預けており、飼い主が市役所に来る手間を省いています。

イノシシ対策基本 3本柱について

問 イノシシ被害については、実害を被っている方々と、そうではない方々との認識に、大きな差がある。イノシシ対策の基本はどの様なものか。

答

経済部長 対策の基本3本柱は、
①捕獲で、昨年は捕獲隊23名により1215頭、わなにより32頭、
②侵入防止対策として、メッシュ柵、電気柵への補助金交付。
③生息環境管理として、柿や栗などの果樹や畑の収穫残さの除去を指導しています。また山林と農地の緩衝帯整備を進めています。



令和2年11月